



# ほけんだより 1月号

令和5年12月29日  
認定こども園どんぐり  
看護師 大久保 古川

先日の発表会では練習してきた成果を発揮し、舞台上で一人ひとりが輝き、素敵な姿をみせてくれました☆

今シーズンの年末年始は新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの感染増加も予想されています。

お正月のお休み中も食事・睡眠・休息をしっかりとって強い身体作りに心がけましょう！

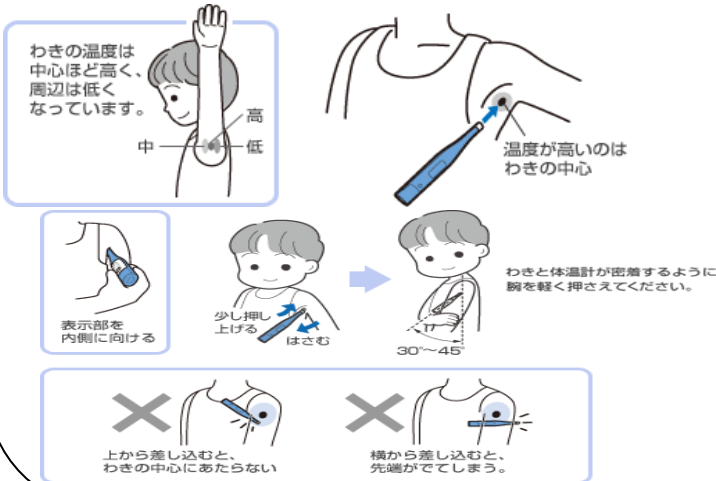
今回は発熱時の対応と体温の測り方について再確認して頂きたく、再度載せていますのでご協力お願い致します。

## \*\*\*\*\*園での発熱時の対応について\*\*\*\*\*

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者様へ連絡をいれる場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝から<b>37.5℃</b>を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。(37.5℃を含む)</li> <li>・食欲がなく朝食・水分が摂れていない。</li> <li>・24時間以内に解熱剤を使用している。</li> <li>・24時間以内に<b>38℃</b>以上の熱が出た。</li> <li>・前日に<b>38℃</b>以上の発熱で早退した。(登園しても再度早退になる事が多い為)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日<b>38℃</b>を超える熱が出ていない。</li> <li>・熱が<b>37.5℃</b>未満で元気があり、機嫌がよく、顔色も良い。</li> <li>・食事・水分が摂れている。</li> <li>・排尿の回数が減っていない。(脱水になっていないかという事)</li> <li>・咳や鼻水を認めるが憎悪していない。</li> <li>・24時間以内に解熱剤を使っていない。</li> <li>・発熱を伴う発疹が出ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>37.5℃</b>以上ある場合(37.5℃も含む)</li> <li>・食欲がなく、水分が摂れない。</li> <li>・顔色が悪い。元気がなく機嫌が悪い。</li> <li>・排尿回数がいつもより減っている。</li> <li>・その他の不快症状(咳・鼻つまり・鼻水・腹痛・下痢・吐気・嘔吐・寒気など)が伴っている。</li> <li>・*熱性けいれんの既往児は<b>37.5℃</b>で至急お迎えをお願い致します。</li> </ul>

### \*正しい体温の測り方\*

- 体温計は脇の中心にあてる
- 体温計を下から少し押し上げるようにして脇をしっかりとしめる。



0・1・2歳児クラスのお子様は、大きなクラスのお子様と比べて体調を崩しやすく、また、重症化しやすいため、なかなか良くならなかつたり、入院になってしまつたりと、保護者のみなさまはもちろんのこと、私たちもとても心配です。

集団生活ではたくさんの菌があり、色々な感染症に感染しやすい場もあります。

早期発見、早めの対応を考え、また、登園後すぐにお迎えをお願いすることが多いため、特に0歳児クラスのお子様は、登園時に保護者の方がいる前で検温させて頂いています。その際に熱が37.5℃以上あった場合はお預かりすることが出来ませんので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

### ～年末年始の急病・受診について～

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱やけがに備え、かかりつけの病院や近くの救急病院の診療時間と休診日は事前に確認しておきましょう。また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。夜間救急病院は、あくまでも救急患者さんが優先ですので、少しでも体調が思わしくないと感じたら、日中の病院の診療時間内に早めに受診することをお勧め致します。

